

科目名	英語研究演習Ⅱ						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	外国語学部	配当年次	3年次	単位数	2単位
教員名	青木 奈津子						

授業概要／Course outline

【テーマ】ホスピタリティ・コミュニケーション

ホスピタリティは、産業界において、その活動により生み出される価値が他との差別化を生むという点で産業活動に大きな影響を与えるものとして認識されているが、今やビジネスのみならず日常生活におけるあらゆる場面でホスピタリティの発揮が期待されている。ホスピタリティとは、一般的に理解されている「おもてなし」という狭義な定義ではなく、人が社会の中で他者と関わりながら共生していくという広義の定義があることをまず理解し、ホスピタリティの概念の理解から、人が存在する場面においてスムーズなコミュニケーションを図り、ホスピタリティを発揮することができるスキルを身につける。異文化や多様な価値観が存在する現代社会において、相手を認め、尊重し、受け入れ、共生していくホスピタリティの考え方やホスピタリティの発揮がどのような価値を生み出すのかを理解し体現できるようにしていく。

教員はエアラインの客室乗務員としてコミュニケーションの重要性を知り、ホスピタリティの発揮について豊富な実務経験をもつ教員である。実践的な内容をベースに進めるため実社会でのコミュニケーションの重要性とスキルを学べる。

日常のあらゆる場において、行動化につなげていけるようにディスカッションや実習を主体に進め、1分間スピーチやプレゼンテーション、実習を主体として進める。成功体験の発表や「ホスピタリティを自らの言葉で語る」など、自分の考えを積極的に発言する機会を増やすことで、自らが判断し、自信を持って、自分の意見を伝える力を身につける。受講生は、演習研究Ⅰで習得した知識をベースに「ホスピタリティコミュニケーション」を多角度から研究し、3～4人の小グループでグループ研究を決め、調査、研究を行う。学期末にはプレゼンテーションを実施し、まとめてグループ研究レポートとして提出する。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

演習

・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション）

内容により、3人～4人のグループディスカッションやグループワークの手法を用いて演習を実施する。

学期末の研究成果はプレゼンテーションの手法で発表する。

・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

オンデマンド授業は、moodleで行う。内容に関する質問はメールで受け付ける。

・実務経験のある教員による授業

エアラインの客室乗務員としてのフロントラインでの実務経験を活かした、生きたホスピタリティコミュニケーションの内容を学べる。

授業内容・授業計画／Course description・plan

★オンデマンド テーマ：授業のスケジュール・概要とイントロダクション(60分)

授業のスケジュールの確認、進め方、この授業における到達目標、身につく力を説明し、学生の心構えを作る。オンデマンドで実施するため、秋学期期間開始後にmoodleにアップする動画を各自で視聴すること。視聴期限は設けないが、第2回の対面授業までに視聴することが望ましい。

第1回 夏休みの課題発表

・夏休みの課題について、自身の考えをベースにグループでディスカッションし、最終到達点を発表する。

第2回 グループ研究テーマの決定

・「ホスピタリティ・コミュニケーション」を題材に、小グループ(3～4人)でグループ研究テーマを決め、調査・研究・発表準備を行う。

第3回～12回 ディスカッション・プレゼンテーション・グループワーク・実習

・ディスカッション・プレゼンテーション、ディベート、ビジネスマナー実習、1分間スピーチなどを通して自分の考えを積極的に発言する機会を持つ。

・レポートの書き方について学ぶ。

- ・グループ研究テーマの調査・研究・発表準備・グループ研究レポートを作成する。
- ・「教員－学生間の対話」を第4回の授業で実施する。

第13回～14回 グループ研究テーマ発表のプレゼンテーションおよび全体の振り返り

- ・グループ毎にグループ研究テーマを発表する。
- ・第1回から14回までの内容を振り返り、再度要点の確認とまとめを行う。グループ研究レポートを提出する。
「学習成果実感調査」を実施する。

★オンデマンド テーマ:グループ研究テーマプレゼンテーションのフィードバック

オンデマンドで実施するため、14回の授業終了後にmoodleにアップする動画(約30分)を各自で視聴すること。視聴期限はレポート提出期限と同様とする。視聴開始と視聴期限は授業の中で明示する。

事前・事後学修/Preparation and assignments

★オンデマンド テーマ:授業のスケジュール・概要とイントロダクション

[事前学修]

- ・「ホスピタリティ」や「コミュニケーション」に関する書籍や関連記事を読み、日常場面での事例を体験するなど、テーマに関心を持ち、その知識をもとに自身の見解をノートにまとめておくこと。

[事後学修]

- ・授業全体の進め方をイメージし、自分自身の目標を立て、学びたい点や疑問点をノートにまとめ、次回からの授業に備えること。

第1回 夏休みの課題発表

[事前学修]

- ・秋学期テーマである「ホスピタリティ」や「コミュニケーション」に関する書籍や関連記事を読み、日常場面での事例を体験するなど、テーマに関心を持つ。
- ・新聞やインターネットなどから情報収集し、社会の出来事や人に関心を持ち自身の見解を持つ。
- ・友人や家族などの周囲とのコミュニケーションを積極的にとること。
- ・夏休みの課題について、テーマに沿って自分の見解をまとめておき、発表準備をする。

[事後学修]

- ・授業内で学んだことを日常生活やあらゆる場面で実施し、知識の定着に努めること。
- ・課題のテーマについて、最終到達点を理解し自分の考えをまとめ提出する。

第2回 グループ研究テーマの決定

[事前学修]

- ・グループ研究テーマの決定に向け、メンバー全員の意見を取りまとめた資料に目を通し、自分の意見をまとめておく。

[事後学修]

- ・決定した研究テーマを研究メンバーと共有し、中間・発表にいたる学期期間での計画を立て、役割を決め、それぞれ研究をスタートする。

第3回～4回 ディスカッション・グループワーク

[事前学修]

- ・「ホスピタリティ」について、知識をもとに自身の見解をノート等にまとめておくこと。
- ・「ホスピタリティ・コミュニケーション」を題材に、小グループ(3～4人)で研究テーマを決め、調査・研究・発表準備を行う。

[事後学修]

- ・ディスカッションの内容やコメントをノートにまとめ、次回までに復習しておくこと。
- ・配布した資料を理解しまとめておくこと。
- ・授業内で課した課題を次回までに実施すること。
- ・授業内で学んだことを日常生活やあらゆる場面で実施し知識の定着に努めること。

第4回～12回 ディスカッション・プレゼンテーション・グループワーク・実習

[事前学修]

- ・毎回、1分間スピーチを実施するので、新聞報道やインターネット等からの情報収集を行い、伝える内容を端的に時間内に伝える練習をする。
- ・「ホスピタリティ」を題材にしたディスカッション・ディベートを実施するので、知識をもとに自身の見解を持っておくこと。
- ・「レポートの書き方」や様々な実習を行うので、配布資料や関連書籍を読み、心構えを作っておくこと。
- ・グループ研究テーマについての調査・分析・発表準備を継続的に実施すること。

[事後学修]

- ・ディスカッションの内容やコメントをノートやメモなどにまとめ、次回までに復習しておくこと。
- ・配布した資料を理解しまとめておくこと。
- ・授業内で課した課題を次回までに実施すること。
- ・授業内で学んだことを日常生活やあらゆる場面で実施し、知識の定着に努めること。

第13回～14回 グループ研究テーマ発表のプレゼンテーションおよび全体の振り返り

[事前学修] グループメンバーとともに十分な準備をして発表に臨むこと。

[事後学修]

- ・発表時に受けたコメントやアドバイスをもとに、グループ研究レポートのリバイスを行うこと。
- ・授業全体のまとめを行い、振り返りを行うこと。

★オンデマンド テーマ: グループ研究テーマプレゼンテーションのフィードバック

[事前学修] グループのメンバーで実施した発表の振り返りを周囲からの評価表を基に実施する。

[事後学修]

- ・フィードバックを参考に、次回及び自身のプレゼンテーションスキルに活かす。
- ・フィードバックを参考に、レポート作成に活かす。

※各授業に関する事前・事後学修は約180分を目安とし、合計で2,700分程度とする。

上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学修を行うこと。

授業の到達目標/Expected outcome

- ・ホスピタリティの発揮が求められるさまざまな場面において、自信を持って適切なコミュニケーションを取ることができるようになること。
- ・研究者によりホスピタリティの見解が異なることを理解し、自身の見解を論理的に述べるようになること。
- ・異なる文化や多様な価値観が存在することを理解し、多様性を受け入れ、あらゆる場面でホスピタリティを発揮することができるようになること。
- ・授業における実習や仲間とのディスカッションに主体的に取り組むことを通じて、コミュニケーションスキル(状況把握力・傾聴力・発信力)、実践力(主体性・実行力)を身につけ、外部に発信できるようになること。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- | | |
|----------|-------------------|
| ・思考力 | 専門知識・専門技能 |
| ・主体性 | 【外国語学部 英語学科】 |
| ・発信力 | ・言語に関わる調査・研究・発信能力 |
| ・協働性・協調性 | |
| ・倫理性 | |
| ・創造性 | |

履修上の注意/Special notes, cautions

- ・ディスカッションや実習を中心に進めていくので、主体的に取り組むことが求められる。
- ・クラス全体のチームワークを大切に、ゼミ運営にも積極的に参画すること。

評価方法/Evaluation

- ・平常点(授業等への参加度合い・授業時の参加姿勢と学習態度) 50%
- ・グループ研究テーマ(レポート・発表) 50%

教 材/Text and materials

教科書: なし。必要に応じてプリントを配布する。

参考書: 適宜講義内で紹介する。

質問や相談の方法/Instructor contact

授業に関する質問や相談がある場合は、オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問すること。

連絡先: 授業内でメールアドレスを周知する。